

未来の柏の図書館を考えよう 中高生ワークショップ開催報告

柏市教育委員会

アカデミック・リソース・ガイド株式会社 (ARG)

開催概要

(日 時) 2018年10月7日 (日) 15:30～17 : 30

(場 所) パレット柏 ミーティングルームC

(参加者) 6名 (中学生1名、高校生5名)、見学者1名

(事務局) 生涯学習課 高村課長、橋本副参事、柳川副主幹、川本主任
図書館 小池館長、後藤副主幹

アカデミック・リソース・ガイド株式会社 岡本、宮田

(プログラム) ①WSとは? 今回のWSの目的 (20分)

②中高生がよく行く・いる場所を考えよう (30分)

③中高生が行きたくなる場所を考えよう (30分)

④まとめ (10分)

柏市の中高生に愛される図書館へ 中高生の居場所となる施設づくり

中高生が主役となって柏市の図書館のあり方の検討に関わり、
図書館とまち全体のつながりを考えていきます。



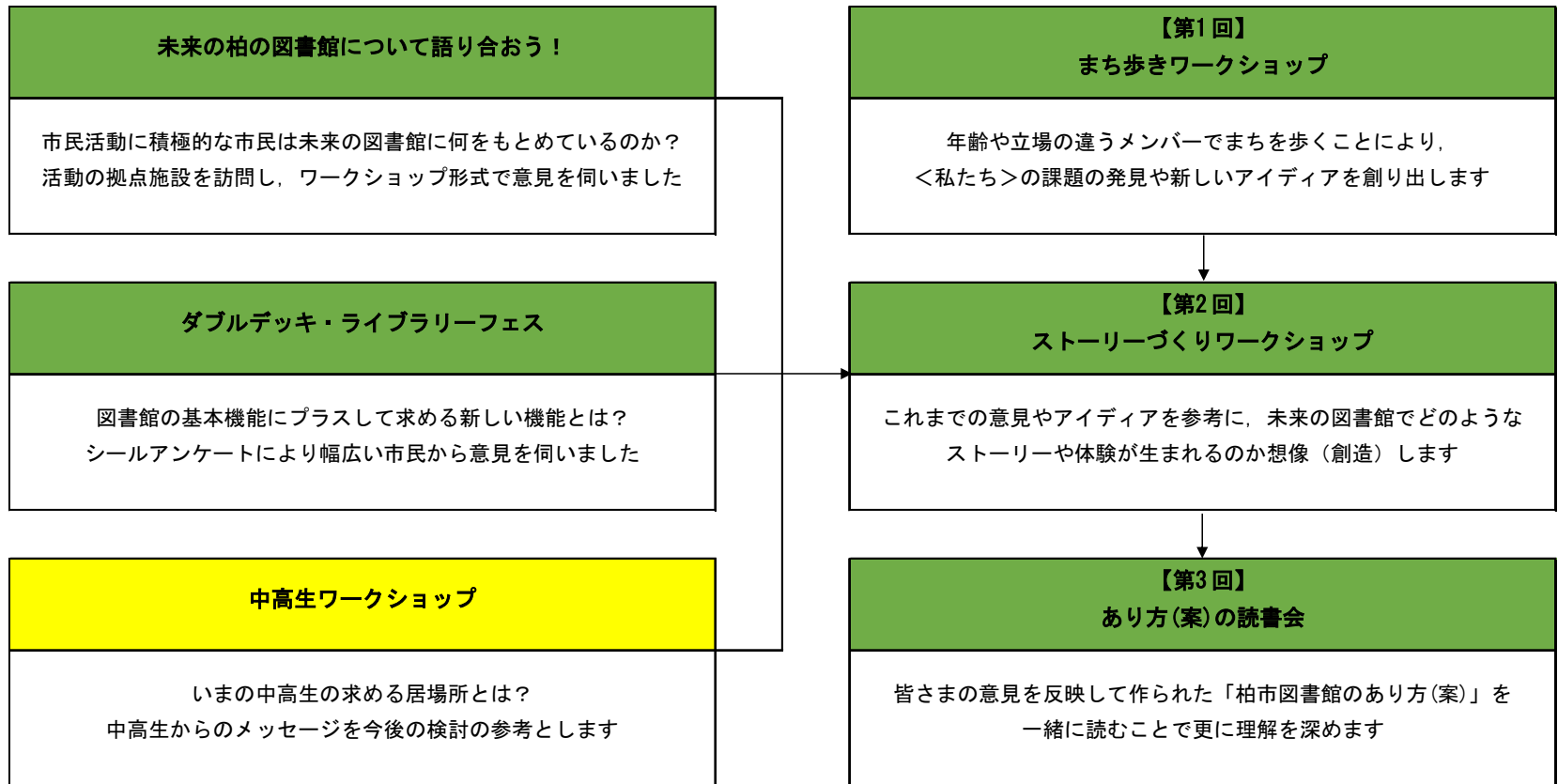
中高生に愛される図書館・まちとなるために

柏市の未来を担っていく中高生にとって、
居心地のよい場所をまちのなかに創り出すことが重要

図書館が、彼ら・彼女らの居場所となることで、
これからも長く愛され利用される施設へと成長していく



柏市の図書館を考える 中高生ワークショップのつながり



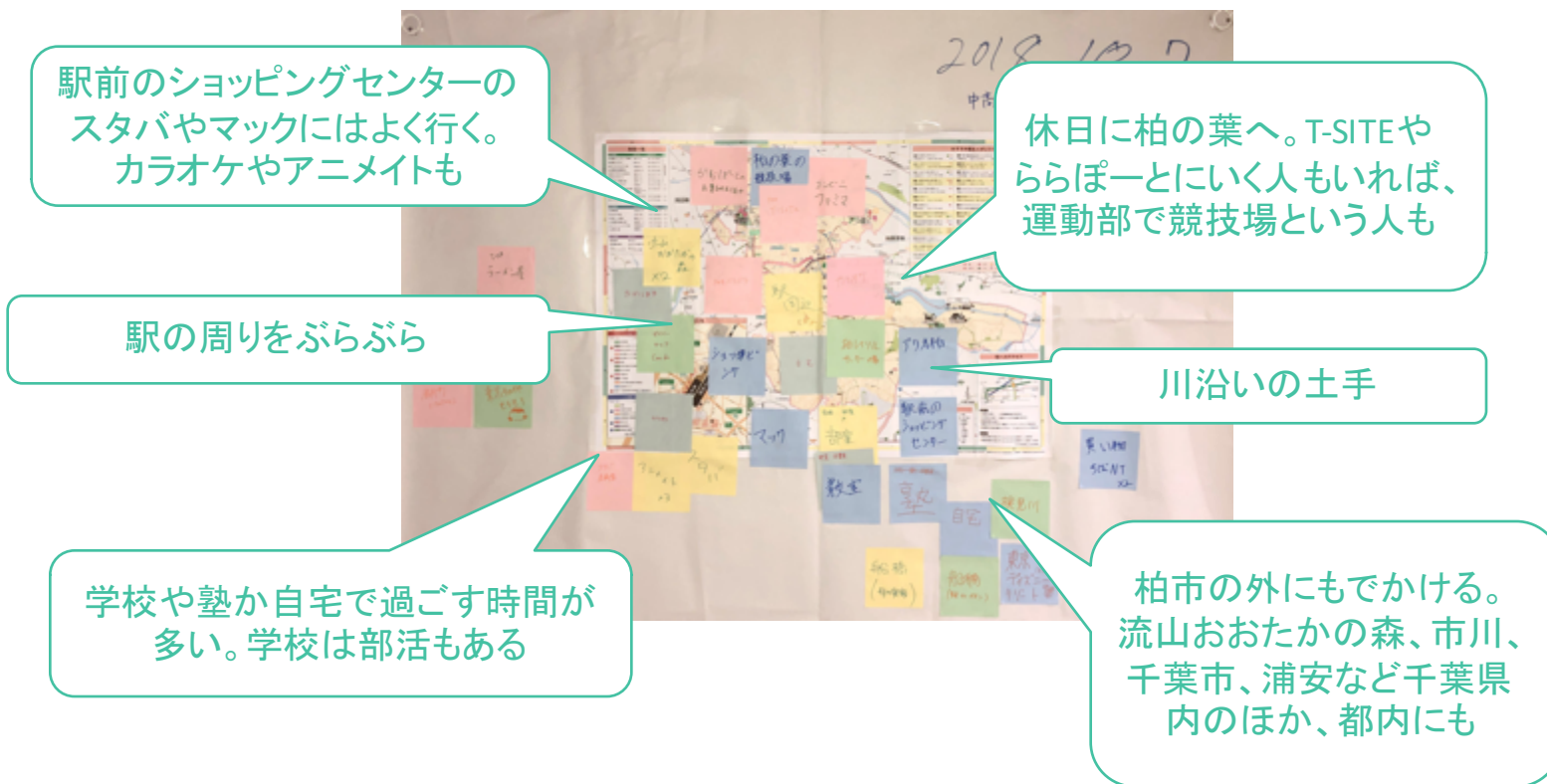
①ワークショップとは？

- ワークショップとは
 - グループで一緒に作業しながら話し合うことでアイデアを創り出す
 - 生徒たちの暮らしに身近な部分から、未来の図書館のあり方を一緒に考える
- どんな変化が起きるか？
 - 学年や部活が異なる生徒同士と一緒に作業に取り組むことで、＜私＞だけの要望ではなく、＜私たち＞の課題を見つけられるようになる
 - 生徒の固定観念(思い込み)が揺さぶられ、ひとりでは思いつかないような解決策が生まれやすくなる
- 居場所から考える
 - どんな図書館も、まちから独立して存在はしない。これまでの調査から、中高生の居場所が不足していることが課題となっていることから、生徒たちにとって身近な居場所について考えることで、まちに開かれた図書館づくりにつなげていく
 - 生徒たちにとっての理想の居場所について考える中から、現在の図書館だけでなく、20年～30年後の図書館像を考えるためのアイデアのヒントを見つける

②中高校生がよく行く・いる場所を考えよう



②中高校生がよく行く・いる場所を考えよう



③ 中高生が行きたくなる場所を考えよう



③中高校生が行きたくなる場所を考えよう

趣味の合う人が集う
シェアハウス

インコがいたり、自由に絵を
描いて過ごせるカフェ

YouTubeライブやソーシャルゲームが
大画面でできるところ

おしゃれなカフェや、いろいろ
な施設があつまった図書館

ダンスができるストリートや
鏡のある体育館

バスケットボールや、花火やキャンプ
が自由にできる、大きな公園



中高生が求める理想の居場所から、図書館やまちづくりへのヒントになるアイデアがでてきました



④まとめ 中高生からのメッセージ

- ・安心して過ごせる居場所が少ない(保護者も安心できる居場所が必要)
- ・お金をかけずに過ごせる場所をいつも探している
- ・会話NGなど禁止事項が多く、Wi-Fiの無い図書館は敬遠されている
- ・いまの中高生は、学校で調べ学習やグループ学習によるアウトプット型の教育を受けてきているが、学校以外にこれらを実践できる場がない
- ・大人のルールに縛られることなく、自由な発想による活動・交流ができる居場所を求めている
- ・スポーツ活動(部活動)と比較して、知的活動の場やその成果を発表する場所・機会が少ない
- ・様々な背景を持つ幅広い年齢層の大人や、自分たちより年下の子供達との交流や活動を通じた学びの機会がない(友達・親・先生が中心の世界)
- ・徒歩や自転車でアクセスしやすい位置に居場所が欲しい